

観戦時の注意

スタジアムスポーツではない自転車ロードレースは、選手たちのすぐそばで観戦でき、選手の息遣いを直接感じられるのが大きな魅力です。安全に立哨していただくために、観戦マナー＆ポイントについて御案内します。

1 選手に触れない

目の前を通り過ぎる選手たちに興奮して、つい手を出して体に触れたり、一緒に走ったりしたくなりますが、それはNG。落車の原因につながるなど、選手たちの迷惑になってしまいます。

2 体はフェンスの中に

アタック時や大集団での走行時、選手たちはコースのギリギリを走行することもあります。コース脇から上半身を大きく乗り出して観戦していると、選手と接触する可能性も。また、フェンスに寄り掛かると、最悪フェンスが倒れる可能性もあります。

3 コーナーではアウト側に立つ

コーナーでは、選手たちはイン側のぎりぎりを走ってくるため、決してイン側に立つてはいけません。コーナーではアウト側に位置するのが大原則。ただし、アウト側といっても油断は禁物です。

4 安全な位置で撮影を

写真や動画撮影時には選手との距離に注意を払ってください。カメラ越しに選手の動きを見続けると、距離感がつかみにくく、間近に迫った選手に気づかない場合もあります。特に望遠レンズは長さがあるので注意が必要です。

5 のぼり旗などは必ず手に持つ

応援には欠かせないのぼり旗ですが、万が一コースに落下すると事故の原因になるため、のぼり旗は沿道などにくくりつけず、常に手に持つようにしましょう。また、フィニッシュ手前 300m～フィニッシュ後 100m の区間については、のぼり旗の持ち込みは禁止されています。

6 関係車両に注意



コース上は選手たちだけではなく、彼らを助けるチームカーやサポートカーもたくさん走っています。選手たちばかりに気を取られずに、自動車やオートバイにも気をつけましょう。特にお子様連れの方は要注意です。

7 ごみは持ち帰る



自分で出したごみは責任をもって持ち帰るか、指定のごみ捨て場へ捨てましょう。ごみの放置・ポイ捨てはマナー違反であるだけでなく、空き缶やペットボトルなどは、選手たちの落車の原因にもなりかねません。

8 ドローンの飛行は禁止

近年注目されている小型無人機「ドローン」ですが、落下など、思わぬ事故の原因になる恐れもあるため、決して飛ばさないようにしてください。ドローンの飛行がきっかけとなりレースが中止になる可能性もございます。なお、特別に主催者の許可を得たドローンパイロットはオフィシャルビブスを着用しています。

9 関係者の指示を厳守

スムーズなレース運営のため、コース周辺には立哨員や警備員が配置されています。皆さんの安全を守る関係者の指示に従い、生の自転車ロードレースの迫力を存分に味わってください。

10 盗難対策 ・ 健康管理 は自己責任で！

屋外で行われる自転車ロードレースでは、観客の皆さんも体調管理に気を遣わなければなりません。適切な水分補給や熱中症対策を忘れないようにしましょう。また、会場内での紛失・盗難を防ぐため、貴重品の管理もしっかりと行ってください。

11 カメラに映るかも?!



各レース会場では、映像収録および写真撮影用のカメラが会場内に入ります。観客の皆さんが立哨員が映った映像が後日、商品化されたりプロモーションに使われる可能性があることを御理解ください。

※会場内での紛失・盗難等の責任は一切負いかねますので予めご了承下さい
※コース沿道の企業及び私有地への侵入(トイレ利用なども含む)はご遠慮下さい

大会情報は
こちら！



シャトルバス・
観戦場所へのルートは
こちらでご確認ください。



競輪の補助事業 この事業は競輪の補助を受けて実施します。 <http://hojo.keirin-autorace.or.jp/>